

廣福寺だより

10 号



新墓地造成工事竣工

規格 1.5 坪 角, 10 月から分譲開始

懸案の新墓地造成工事は九月上旬竣工、その概要を本紙で門徒の皆さんに伝え十月一日以降御希望の方に分譲を開始する運びとなりました。近年新規に墓を建てられる方が多く当寺の旧墓地も次第に余地が少なくなり、

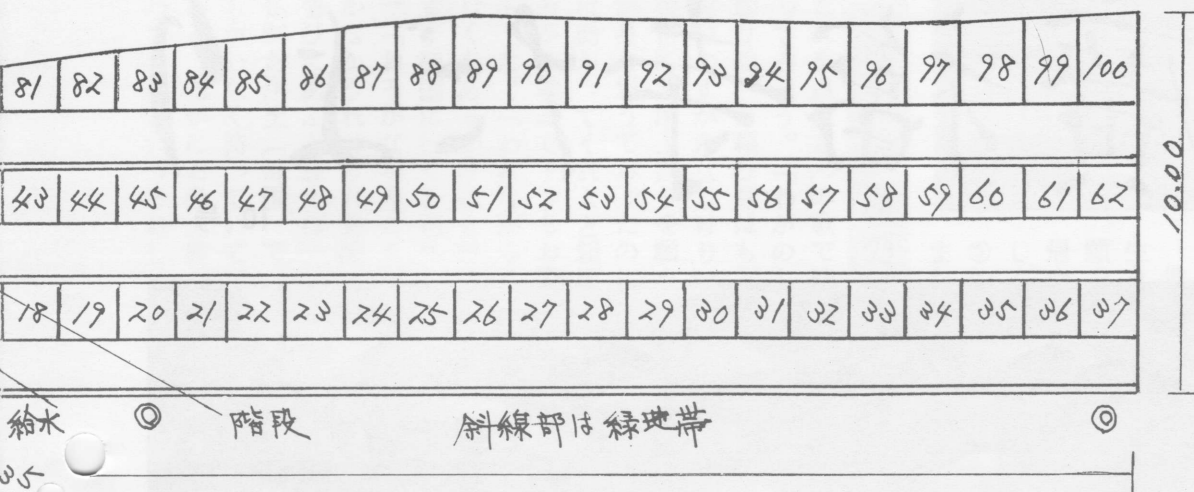
新墓地造成の必要に迫られておりましたが昨年の国土調査後、隣接地権者の御了解をとりつけ春の総代会議にはかり工事を推進することになりました。

墓地造成には当然先行投資が不可欠となりますが幸いにも篤志家の方々が造成資金を工面して下さることになり全く別途会計で一挙に進めることになりました。現場は旧墓地に隣接する畑（住職個人名義）で一・五坪角を規格に百区画（規格外を含む）を造成、一・五坪の参道を取り排水・照明・給水・緑化等の設備を整え、逐次周辺の環境も整備する計画。詳細は次頁参照。

9 月 23 日
彼岸会
無縁法要

午前10時
おつとめ
午後7時
お初夜

皆様お誘い合わせ、お参り下さるよう御案内申し上げます。
今まで初・中・後3日間のおつとめでしたが京浜地区回檀のため、今年以降は中日1日だけのおつとめとなります。



新墓地 本堂裏の旧墓地の西側、麓六千五百七拾六番地、弥彦山麓の高台、西方に向かってお参りする形に統一、鐘楼と庫裡のわきから参道を通じ駐車できる空地があります。

区画 寺院や公営墓地を視察、検討の結果一・五斜角を規格に区画をつくりましたが地形の関係で奥行きが深いところ、浅いところもできました。規格どおりの区画が1番から62番まで、規格外の区画が63番から100番まで、合計100区画あります。

工事仕様 前面と側面は歩車道境界ブロック背面は普通のブロックで区画、ベースはコンクリートで固めました。参道は一・五斜の要所にグレーチングを使用します。高低差があるため階段や傾斜部があり、その脇に草木などを植栽できる緑地帯を四箇所、またお墓参りの利便をはかるための給水設備を一個所設けました。お盆にはひしゃくやバケツも

用意します。鐘楼わきの参道に一個所、新墓地と旧墓地の間に三個所外灯(写真)を設けました。(小山電気工事店施工)

施工 連日の炎天下、麓二区の小林組の皆さんに御苦労頂きました。厚く御礼を申し上げます。ありがとうございます。

分譲 対象は当寺の門信徒といたします。

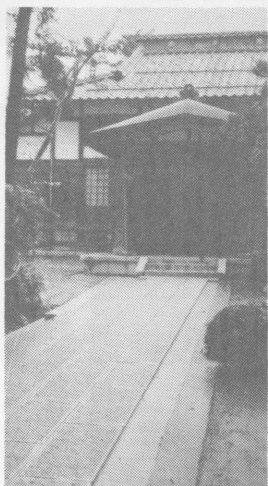
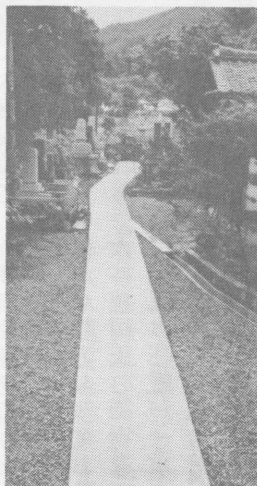
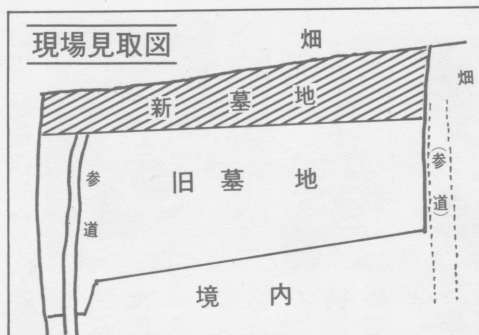
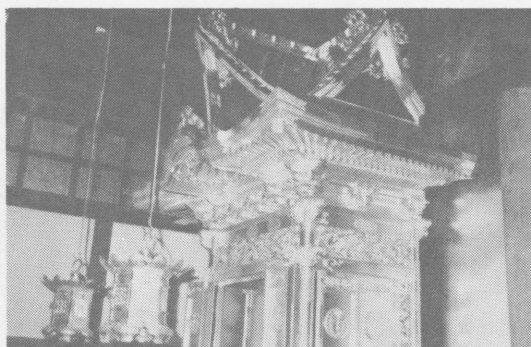
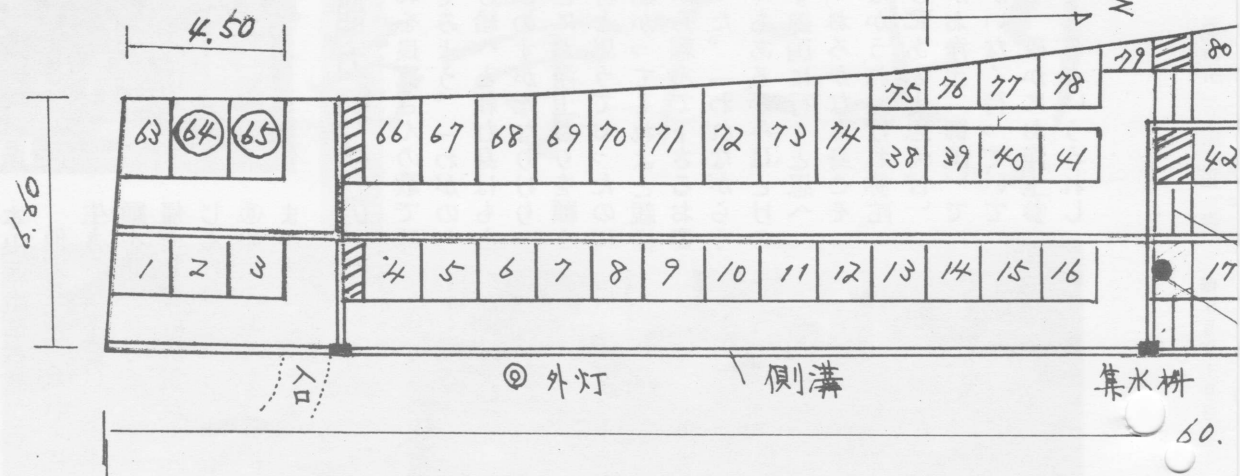
当寺が親鸞聖人を宗祖と仰ぐ真宗仏光寺派の寺院(宗教法人)であることを十分御承知の上でお申込みの方であれば他門徒の方にも一切差別なく分譲いたします。

永代使用料 規格(一・五斜角、二・二五平方斜)の区画は七万円、規格外の区画は規格の使用料に準じて使用料を定めます。使用料は墓地造成工事費、維持管理、環境保全費にあてることになります。

申込み受付 十月一日以降随時お申込みを受付けます。場所の選定はお申込み順にお願いいたします。墓地造成工事のためお墓を移築して頂いた方があります。この方の移築される区画(64番、65番)はお申込みを御遠慮願います。二区画ほしいという方も御希望におこたえいたします。お申込みにおいでの際はあらかじめ電話で在宅をおたしかめの節は下さい。住職と坊守二人きりですので不在で御迷惑をおかけすることもあるうかと存じます。よろしく願いいたします。なお申込み用紙に記入捺印して頂きますので印鑑をお

広福寺新墓地造成計画図

S=1/200



忘れなく御持参下さい。
登録 永代使用料を受納し区画番号をつけて当寺新墓地台帳にお名前を登録します。
記名 登録がすみますと分譲済みの区画にスプレーで記名させて頂きます。
同時に区画番号

を○印で囲み分譲済みであることを標示します。なお規格外の区画のうち75番、78番の四区画にかぎり地形上やむをえず参道が60cmとなっていることを申し添えます。造成のため移築や基礎部分を切りつめて頂いた方々の御理解に厚く御礼を申し上げます。

本堂・境内の整備進む

内陣格天井改装工事に伴い御本尊御宮殿の三方妻の屋根形のとりにつけと塗箔のお荘厳が整い六月の永代経法要に間に合いました。工費四十二万円、施工寺泊町志田仏壇店。

本堂参道の敷石が永年の間に損傷したためとり外し使用可能なものを鐘楼までの参道に敷きつめ、本堂参道には新たにオギノ石を敷きつめました。工費四十二万五千円、施工吉田町武石石材工務店。

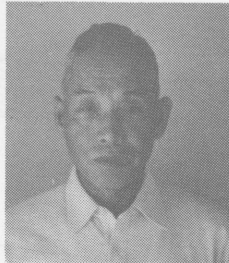
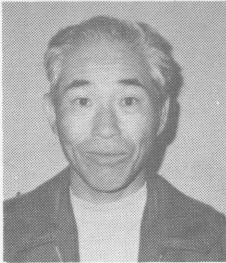
参道敷石付帯工事を含め新墓地に通ずる参道コンクリート舗装、新墓地造成に伴う排水のためのヒューム管、側溝伏込み工事を小林組にお願いしました。工費は四十六万六千円となっております。



本山派出御布教から
他力救済のみ教えに
生きる三本柱は、①本
願を聞きひらく②一心
帰命し安心決定（あん
じんけつじょう）する
③如来のおはからいに
まかすことである。

他力救済のみ教え

これを良寛さんの歌で味
わってみよう。「わがのち
を助け給へと頼む身はもとの
誓ひのすがたなりけり」
〓後世にお浄土参りを願う
わが身と思うておったのに
実は助かってくれよと親様
の方から頼んで下さるお姿
であった。「われながらう
れしくもあるかみほとけの
います御国に行くと思へ
ば」「おろかなる身こそ
なかなかうれしけれ弥陀
の誓ひにあふと思えば」
み仏がお浄土（御国）で
まちがいに待っていて
下さる、確にお浄土参
りのできるといいうれし



新任中村・武石両世話方の紹介

さ、大安心、愚かでしたらぬ私（大愚良寛）
その私を目当てに助けずにはおかぬとお約束
下された、さればこそわが身が愚かのそのま
んまでかえって確かに救いとられていくのだ
といううれしさ、大安心、これがこの世の一
切の苦悩をのりこえて生きる力となる。「か
にかくにもな思ひそ弥陀仏の本の誓ひのあ
るにまかせて」ああしたら、こうしたらとい
うそんなはからいを捨てきって、ナムアミダ
ブツのお名号で成就下さった御本願におまか
せするだけだ。そこからお念仏を糧とした力
強い明るい生活がきずかれていくのです。
△3月9日小寺正弘師の御布教から引用▽

昨年の暮れから今年の春にかけて相継いで
亡くなられた平岡豊七
武石児太郎両世話方の
後任として、中村守氏
（麓二区）、武石金衛
氏（麓一区）を当寺世
話方に委嘱いたしました。
〓五月一日付〓今
後当寺の護持経営のた
め御苦勞を煩わすこと
となりますが、門信徒
の皆様の御協力を切に
お願い申し上げます。

▼御寄進ありがとうございました▲

本堂内陣の天井張りが外陣と不つり合いで
気がかりとなっておりましたが、当寺世話方
大谷統司氏の御寄進で二重の格天井工事が三
月竣工お荘厳が一段と整備されました。工費
百拾七万四千五百拾円、施工青木住宅産業㈱。
また六月、加藤勉氏（和納）から庫裡玄関の
瓦屋根工一式の御寄進をいただきました。
（写真は右から格天井と庫裡玄関瓦屋根）

